

『ウトロの歴史と人々と出会う』 学びの会



京都府宇治市にあるウトロ地区。1940年に「京都飛行場建設」工事に際して集められた在日朝鮮人労働者の飯場跡に形成された集落。やがて敗戦により使い捨てのように放置された。この地を去った人もいたが残った人たちは、敗戦の混乱の中飯場を家に変え、土地を開拓し農地に変え、助け合いながら生活を営んできた。戦後の厳しい差別の中劣悪な生活環境の改善を求め日本の市民たちも声を上げ1988年上下水道が敷設された矢先に、戦後転売されていた地権者から「不法占拠」として立ち退きを求める裁判が提訴され、12年に及ぶ裁判で住民は敗訴した。しかし住民と支援者の粘り強い取り組みは日本国内外に広がり、韓国政府・市民の支援を受け2007年にウトロ地区の土地一部の買い

取りが決まり、新しい街づくりが進められてきた。

2021年8月30日、ウトロ地区で倉庫、空き家7棟が焼ける大規模火災が発生した。12月6日京都府警に放火容疑で奈良県桜井市在住の22歳の男性が逮捕された。裁判で、「コロナ過で離職を余儀なくされ、鬱屈した気持ちであった」とし、「韓国人に敵対感情があり、彼らが自分たちより優遇されていることが許せなかった」と語った。在日コリアンを狙った「ヘイトクライム」である。裁判では、住民弁護団が求めた「ヘイトクライム」（人種差別動機に基づく犯罪）との認定は認めなかった。2022年には街づくりの拠点「ウトロ平和祈念館」がオープンした。ウトロの歴史を知り、人々と出会うことから学びたいと思います。（写真：ウトロ平和祈念館）

テーマ 『(仮) ウトロの歴史と人々と出会う』

開催： 3月23日（土）午後13:30（受付）14:00（開会）

場所： 三宅町「あざさ苑」2階 研修室

講師： 金秀煥（キム・スファン）さん

参加費： 500円



プロフィール

1976年生まれ。在日コリアン3世。

幼少期から朝鮮学校で学び、朝鮮大学校政治経済学部卒業。

卒業後は民族団体に所属し、2010年からウトロ地区にある南山城同胞センターに勤務。

ウトロ地区では住民の生活支援とウトロを訪れる人びとの案内などを務める。

現ウトロ平和祈念館副館長。

主催 NPO 法人なら人権情報センター

問い合わせ 0744-33-8585